

2012年外国語担当教員セミナーおよび 高等学校韓国語中国語教師研修

主催：公益財団法人国際文化フォーラム (TJF)
共催：関西大学大学院外国語教育学研究科

学習者の人間的成長を促す外国語教育 学習動機と学習効果を高める評価



参加者募集

■日程： 2012.8.3 (金)～8.7 (火)
※8月3日(金)～8月5日(日)は、外国語担当教員セミナーとして実施します。

■場所： 関西大学千里山キャンパス
(大阪府吹田市／阪急千里線「関大前駅」下車徒歩約5分)

■対象： 高校外国語教師、大学外国語教師、外国語教師を志望する大学院生など
※後半2日は、中国語および韓国語の教師および大学院生などに限定して実施します。

■申込方法： 次の URL から募集要項をご覧の上、フォームからお申込みください。
※募集は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

<http://link.tjf.or.jp/kenshu2012>

研修のひとこま・参加者の声

講義、グループワーク



ポスター発表・交流会



学びから実践に

● テストのタイミングや内容をきちんと考えてテストを実施することの大切さがわかった。すぐ実践したいと思う。
(中国語／英語教師、高校)

できることから変えていこう

● 英語も韓国語も教えているが、双方とも内容が知識偏重となっている。例えば読解は、書いてあることについて質問するだけで、生徒に考えさせる機会を与えていない。これから生徒が思考能力を伸ばし、考える力も育むことができる外国語教育の実践を心がけたい。また、そのようなニーズに応えられる指導力を身につけたいと思う。
(英語／韓国語教師、高校)

仲間からの刺激

● 校内に中国語の教師はひとりしかいないため、研修で仲間と話すことで刺激を受けた。一緒に授業を受け、アクティビティを実践することで、相互の情報交換や理解が深まった。
(中国語／英語教師、高校)

これまでの自分を振り返る

● 新しい外国語教育のあり方にふれて、これまでの授業のやり方や教材に対する考え方を見直すことができた。
(中国語教師、大学)

日本での外国語教育という視点

● 韓国語、中国語、英語等と分けるのではなく「日本での外国語教育・外国語学習」という視点で連携し考えていくことの重要性を感じた。そして、それを高校教師だけでなく、高校全体、大学、地域等に広げていくことが大切だと思った。
(韓国語教育専攻、大学院)

2012年 外国語担当教員セミナーおよび 高等学校韓国語中国語教師研修 募集要項

1. 実施目的

- (1) 外国語教育の目標設定・内容・方法に関する考え方や理論に対する理解を深め、学習者の人間的成長を促し、グローバル社会づくりに必要な総合的コミュニケーション能力の獲得を促す授業のあり方を考えます。
- (2) 韓国語や中国語等外国語を担当している教員のネットワークを強化します。
- (3) 高等学校の韓国語や中国語の実際の授業づくりに協働して取り組みます。

2. テーマ

学習者の人間的成長を促す外国語教育 - 学習動機と学習効果を高める評価

3. 実施機関

- 主催 : 公益財団法人国際文化フォーラム(TJF)
共催 : 関西大学大学院外国語教育学研究科
特別共催 : 駐日韓国大使館 韓国文化院、在駐日本中国大使館教育処
駐日韓国文化院 世宗学堂
後援 : 文部科学省
協力 : 高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク、高等学校中国語教育研究会

4. 日程

2012年8月3日(金)～8月7日(火) (1日4コマ、1コマ90分)

*8月3日(金)～8月5日(日)の講義は、韓国語・中国語を含む全ての外国語を担当する教員も参加対象とした「2012年外国語担当教員セミナー」として実施します。

5. 会場

関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市／阪急千里線「関大前駅」下車徒歩約5分)

6. 講師 (五十音順・敬称略)

富作靖彦(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)ほか

中国語担当講師: 植村麻紀子(神田外語大学専任講師)、胡玉華(関西学院大学常勤講師)
山崎直樹(関西大学教授)

韓国語担当講師: 任喜久子(大阪府立花園高等学校教諭)、中川正臣(目白大学非常勤講師)
南潤珍(東京外国語大学准教授)

7. 募集人数と応募条件

募集人数: 外国語担当教員ほか、計100名(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

応募条件:

- ・高等学校において外国語の授業等を担当している方
- ・大学において外国語の講座等を担当し、高校の外国語教育との連携をお考えの方
- ・外国語教師を志望する大学院生など

※初参加者で、8月5日(日)以降の参加をご希望の方は、**8月3日(金)、4日(土)両日の終日受講が必須**です。

※8月6日(月)、8月7日(火)の参加をご希望の方は、**8月5日(日)終日受講が必須**です。

8. 受講料

全日程(5日間):18,000円 (1日単位:4,000円)

9. 研修内容

- 8月3日(金)、4日(土): 学習者の人間的成長を促しつつグローバル社会づくりに必要な総合的コミュニケーション能力の習得を図るための具体的な目標設定から、学習内容と方法について学ぶ。また、カリキュラムデザイン、レッスンプラン、学習者中心の活動を考える。
- 8月5日(日): 学習動機と学習効果を高める評価活動についての理解を深めるとともに、実践的な評価手法について学ぶ。
- 8月6日(月)、7日(火): 韓国語と中国語教師を対象を限定し、グループにわかれて、前日の講義を踏まえた評価活動づくりに協働して取り組む。

1時限=90分	8月3日(金)	8月4日(土)	8月5日(日)	8月6日(月)	8月7日(火)
1時限 9:00-10:30	コミュニケーション とは何か	学習シナリオ	学習動機と学習効果 を高める評価①	評価活動作り① (合同授業)	評価活動作り⑤ (グループワーク)
2時限 10:45-12:15	新しい能力を身に つけるとは何か	カリキュラムのバック ワードデザイン	学習動機と学習効果 を高める評価②	評価活動作り② (グループワーク)	評価活動作り⑥ (グループワーク)
昼食					
3時限 13:30-15:00	目標設定から活動 まで①	形式的評価と総括 的評価	学習動機と学習効果 を高める評価③	評価活動作り③ (グループワーク)	ポスター発表・講評
4時限 15:15-16:45	学習者中心のクラス 活動	目標設定から活動 まで②	学習動機と学習効果 を高める評価④	評価活動作り④ (合同授業)	ふりかえり
17:00-18:30			参加者の交流会		

*上記研修内容は変更されることがあります。

*教育で使えるWeb 2.0テクノロジーについても話題として取り上げる予定です。

*交流会は、8月5日(日)17:00から18:30までを予定しています。

10. 申込方法

インターネットで次のURLのフォームからお申込みください。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/e86d0d4d28568>

受講の可否は電子メールかファックスでお知らせいたします。その際、受講可能な方には、受講料の振り込み方法等を併せてお知らせいたします。なお、応募者数が定員を超えた場合は、全日程(5日間)受講する方、申し込みの早かった方を優先させることをあらかじめご了承ください。

11. 問合せ先

公益財団法人国際文化フォーラム (担当:中野敦)

E-mail:koko_kenshu2012@tjf.or.jp / TEL:03-5981-5226

住所:〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-14 音羽 YKビル 3階

★ 宿泊の提供について

本年度は、宿泊先の提供はありません。宿泊の手配は各自でお願いいたします。